

日本基督教団(東京教区・北支区) 創立 1970 年 11 月 1 日

# 百人町教会週報

No. 2894

2026 年 4 月 12 日

## 主日礼拝

### 復活節

司会 石田美智代

証詞 金井美彦

奏楽 斐 宣恵

受付 権田一正

前奏 Prelude

讃美 Hymn 326 (地よ、声高く)

聖書 Scripture アモス書 2 章 4-16 節

祈禱 Prayer

使徒信条 B Apostles' Creed B 93-4 B

献金 Offering

献金の祈り Offering Prayer

報告 Report

証詞 Testimony 「預言者アモスは激しく怒った」

祈禱 Prayer

讃美 Hymn 537 (眠りから覚めよ)

食前の祈り Prayer before meals

共食 Commensal

応答 Response

祈禱 Prayer

後奏 Postlude

\* 讃美歌の時は座ったままでも結構です。

## 今年の聖句

「わたしはすべての人にわが霊を注ぐ。あなたたちの息子や娘は預言し、老人は夢を見る。」ヨエル三の一

## 今週の聖句

「わたしは許さない。彼らが正しい者で、貧しい者を靴一足の値で売ったからだ。」アモス二の六

(Zoom ID 「607 777 8018」 PW 「roba1970」 担当 石田・空閑・坂)

### ✠今週の集会

本日 2025 年度総会

『ろば』を読む会 (zoom) 4 月 12 日 (火) 15 時

『ろば』248 号 担当者 小川ひとみ氏

### ✠来週の集会

主日礼拝 4 月 19 日(日)午前 10 時半 証詞 金井美彦氏

題「原点としてのイエスの宣言」聖書 マルコ 1 章 1-15 節

讃美歌 2, 401

司会 権田一正氏 受付 榎本征子氏 奏楽 前中榮子氏

聖書研究会(Zoom) 4 月 21 日(火)午後 7 時半 担当 権田一正氏

### ✠消息と案内

★小林祥人氏 池袋西教会牧師就任式 4 月 19 日午後 2 時 30 分から  
参加希望者(2,3 名)は金井牧師まで

### ✠特別献金

イースター献金 17 口 169,000 円

尾池幸氏 (礼拝出席感謝) 空閑厚樹氏 (感謝)

高島紗綾氏 (愛実さん誕生日感謝)

### ✠先週の集会報告

	対面(子供)	Zoom	計	席上献金
主日礼拝	4/5	40(2)	4	44
				26,000 円

集会場所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-34-13 東京家政専門学校 2 階 <http://www.hyakunincho-church.com> 郵便振替口座：00180-8-565379

連絡先 〒112-0002 文京区小石川 2-9-4-301 金井美彦 携帯 090(5348)4164 E-メール [hyakuninchoroba@gmail.com](mailto:hyakuninchoroba@gmail.com)

◇世話人会報告◇ 2026年4月2日 (ZOOM)

出席 金井牧師、石田美智代 (司会)、小川ひとみ、小島悦子、佐藤かよ子、  
新谷照子、坂真理子 (記録)

1 3月の報告と反省

19日「パンをさく会」 20名程参加 賈先生、美卿さんとの最後の会を  
赤尾さんや息子さん達の心づくしのお料理をいただき楽しくできた。

22日 ろば248号発行

29日 「賈先生、美卿さんのお別れ会」約50名の参加者が一言ずつ先生への感  
謝を述べ、サプライズの記念誌をお贈りした。

2 4月の予定

・証詞担当 5日・金井牧師 12日・金井牧師 19日・金井牧師  
26日・小川ひとみ

・5日イースター遠足について 今年の前日雨の予報であり、前払いの電子チケッ  
ト購入制なので新宿御苑はやめる。10:30~12時まで礼拝・応答をし、その後高  
田馬場の会場で各自簡単な持ち寄りの共食をする。

・8日午後7時から臨時世話人会 (会計状況確認、今後について検討)

・12日 2025年度百人町教会総会 (礼拝後応答なし)、新旧世話人会

3 5月の予定

・証詞担当 3日・金井牧師 10日・石田美智代 17日・金井牧師  
24日:木田みな子 31日・金井牧師

・5月26日(火)、27日(水) 東京教区総会、富士見町教会  
教職議員:金井美彦 信徒議員:新谷照子

4 会計報告

・決算は赤字となる。積立金より補填。

会計監査は4月9日 (千葉道代、高島紗綾)

・会計科目等について検討。

5 その他 ・聖研 (4月、5月、6月開催分) について

月の2回目を日程変更 4月→21日夜、5月→27日夜、6月→24日夜

・次回世話人会 未定 (総会后決定)

◇臨時世話人会報告◇ 4月8日 (水) 19時 総会資料の整理と確認を行った

会員日誌

木村真理子

2026年度、私たちは非営利法人活動の目標を専門職の人材育成から、  
現地の団体と共同して、現地の人々の生活の向上とその持続可能性の追  
求を目指そうとしている。活動の財源には、民間財団の助成金を獲得する  
必要がある。昨年から探求しているのは、アジアのNGOが現地で行って  
いる草の根支援の活動とパートナーシップを組み、現地の人々の生活の  
持続可能性とエンパワメントを追求しようとするものである。しかし、助  
成金獲得は軒並み成功していない。

最近、JICA (日本国際協力機構) の基金助成に関する説明会に参加し、  
アフリカ女性たちの石鹸作りの支援に関与した日本NGOの報告を聞いた。  
日本組織の代表は過去にアフリカで青年海外協力隊の一員として働いた  
経験をもつ。石鹸作りは現地女性たちの生計維持・向上が目的だが、日本  
の女性の視点から、石鹸製造過程に伴う衛生管理目的を実現し・売上がよ  
り向上すると考えて、助成金申請にその要素・目的・到達目標と目標達成  
後の姿を記載して助成金獲得に至ったと意義を語った。

私たちの申請でも、申請内容と到達後の現地の暮らしについて、私たち  
が提供できる可能性や工夫について説得力を持つ必要がある。今回のア  
フリカでの実践例は、開発型ソーシャルワークの本来の目的である人々  
の生活の向上と進歩、持続可能性を目指す“開発型”のソーシャルワーク  
(Developmental Social Work) の意味を再確認させてくれた。

助成金申請のアイデアのヒントは得られたが、南アジアの人々の生活  
や社会・政治・経済・文化事情はアフリカとは異なる状況にあり、格闘は  
これからも続くと思われる。